

令和5年度事業報告書
 令和5年4月1日から令和6年3月31日まで
 特定非営利活動法人アットマーククリアスNPOサポートセンター

I. 事業

【助成及び委託事業】

1. 釜石市における他セクター連携による社会課題解決と防災のための仕組み作り事業
 助成元：日本郵便年賀寄付金

実施期間：令和5年5月～令和6年3月

(1) 事業概要

東日本大震災の被災地釜石において、復興の先に必要な「官民一体の地域」実現に向けた地域課題解決、公共サービス、防災・減災のあり方を具体化するため、デジタル（DX）を活用した官民連携の仕組み作りを行う。

(2) 事業内容

- ① DX勉強会の開催（年6回実施）現地参加・オンライン参加のハイブリット開催
- ② 他地域でのDX勉強会等への参加（年3回）
- ③ 釜石における「ローカルDX」を考える場（年4回）
- ④ 釜石ローカルシンポジウムの開催（現地参加・オンライン参加のハイブリット開催）

(3) 実施内容

- ① かまいしDX勉強会を6回開催した。

	テーマ	開催日	参加者数
1	キックオフ勉強会	2023年4月28日	10名
2	ふくしのDX	2023年5月18日	16名
3	防災のDX	2023年7月27日	12名
4	行政・地域のDX	2023年9月27日	12名
5	暮らしのDX	2024年1月17日	17名
6	NPOのDX	2024年3月7日	5名
計			72名

- ② 他地域でのDX勉強会等への参加

	研修名	参加日
1	ふくしフォーラムinTokyo	2023年8月23日
2	Softbank world 2023	2023年10月4日～10月6日
3	NPTechイニシアティブIT初心者のための連続基礎セミナー	2023年9月5日
		2023年10月17日
		2024年2月20日

- ③ 釜石における「ローカルDX」を考える場の開催

◇ 釜石市、釜石市社会福祉協議会、釜石商工会議所、地域事業者をコアメンバーとし、釜石市における「ローカルDX」について考え、プロジェクトの方向性を検討する場を4回開催した。

- ④ 釜石ローカルシンポジウムの開催

◇ 「地域のDX・暮らしのDXへの挑戦と未来への展望」をテーマに地域社会におけるデジタルトランスフォーメーション（DX）を促進し、釜石地域の持続可能な成長を目指すことを目的に開催。また、地域特有の課題や機会に焦点を当て、市民・企業・自治体が協力して創り上げる未来の地域社会を考え、アイディアの共有と専門家との対話を

通じ、釜石市の地域 DX がどうあれば良いかを展望した。釜石市内・市外より会場参加・オンライン参加合わせ 48 名が参加した。

2. 被災者支援コーディネート事業

委託元：特定非営利活動法人いわて連携復興センター

実施期間：令和 5 年 4 月～令和 6 年 3 月

(1) 事業概要

東日本大震災に伴う避難生活の長期化や、災害公営住宅等への移転など、被災者を取り巻く生活環境が変化する中で、被災者が安定的な日常生活を営むことができるように、被災者の円滑な生活再建の支援、心のケア、生きがいづくり、による「心の復興」やコミュニティ形成の促進等、各地域の復興の進展に伴う課題に対応した支援活動を総合的に支援することを目指す。

(2) 事業内容

- ① 被災地域の現状・課題、個別の支援ニーズ等の把握及び整理
- ② 被災地域の課題や個別の支援ニーズに対して、多様な活動主体による支援策の実施のためのコーディネートの実施（ニーズとリソースのマッチング）
- ③ 1つの市町村内や市町村の区域を越えた、行政とNPO及び企業等の多様な活動主体間の連携、協働体制の構築
- ④ 各地域の課題や取組の分析及び被災地域全体への波及

(3) 実施内容

- ① 釜石地域のNPO等を訪問し、活動の中から被災地域の現状・課題を把握し、課題シートに整理し、いわて連携復興センターに報告した。
- ② 被災地の課題や個別の支援ニーズに対し、いわて連携復興センターの地域コーディネーターと連携し支援策を実施した。
- ③ 陸前高田市、大船渡市、釜石市、大槌町、山田町、宮古市の各地域の調整員といわて連携復興センターの地域コーディネーターによる活動報告及び課題やニーズの共有を行った。
(月1回計12回)
- ④ 陸前高田市、大船渡市、釜石市、大槌町、山田町、宮古市の各地域の調整員といわて連携復興センターの事業に関わるメンバーを対象とした学びあう会に参加した。
(計3回)

3. 釜石市復興住宅等入居者訪問支援事業

委託元：釜石市

実施期間：令和 5 年 4 月～令和 6 年 3 月

(1) 災害復興公営住宅巡回訪問

支援連絡員が災害復興公営住宅を週 2 回巡回し、住民の在宅・不在確認（安否確認）、普段との違いが無いか、設備等各種破損等が無いか確認した。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
釜石	2,149回	2,121回	2,098回	2,272回	2,100回	2,079回	2,147回	2,061回	2,031回	2,003回	1,994回	2,019回
平田	388回	374回	376回	381回	460回	388回	388回	388回	383回	377回	384回	378回
小佐野	113回	112回	119回	113回	110回	100回	94回	96回	103回	89回	71回	102回
中妻	812回	797回	806回	814回	806回	810回	802回	780回	933回	773回	628回	909回
鶴住居	1,189回	1,331回	1,172回	1,174回	1,168回	1,155回	1,251回	1,155回	1,142回	1,139回	1,134回	1,125回
唐丹	255回	254回	252回	257回	308回	257回	253回	260回	266回	260回	264回	256回
総計	4,906回	4,989回	4,823回	5,011回	4,952回	4,789回	4,935回	4,740回	4,858回	4,641回	4,475回	4,789回

(2) 住民からの相談受付

復興公営住宅に居住する住民から各種相談を受け付け関係各所に繋ぎ、解決を図った。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
釜石	1件	0件	2件	2件	0件	1件	1件	3件	1件	2件	0件	2件
平田	1件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	1件	0件	0件
小佐野	0件	0件	0件	0件	0件	0件	1件	1件	0件	0件	0件	1件
中妻	0件	0件	0件	1件	0件	0件	0件	1件	1件	3件	1件	0件
鶴住居	0件	1件	2件	2件	1件	0件	1件	0件	1件	0件	0件	0件
唐丹	0件	0件	1件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	1件	0件	0件
総計	2件	1件	5件	5件	1件	1件	3件	5件	3件	7件	1件	3件

【自主事業】

1. 実施期間：令和5年4月～令和6年3月

(1) NPO支援センター事業

① 子ども向けプログラミング講座

概要

釜石市内で活動する「さんつな」の学習支援に通所している子どもたちを対象にプログラミングコンテンツを通して、コンピュータサイエンスに触れ、トライ＆エラーの体験を目的に実施した。

実施内容

▶ 教育版マイクラフトを活用したプログラミング講座を10回実施した。

② 釜石地域で活動するNPO等を訪問し団体活動の状況を把握及び相談対応を行った。 (随時)

▶ 団体とのアクセス145回

※被災者支援コーディネーター事業と合わせて実施した。

③ 助成金情報や講座、イベント情報等をホームページ・Facebook・メール等を活用し情報発信を行った。(随時)

▶ メール：74件

▶ ホームページ：35件

④ 釜石地域で活動するNPOや行政などの情報共有や活動に必要なスキルアップを目的として釜石地域まちづくり連絡会議の開催（月1回第2水曜日）

▶ 10回開催した。

II 事業の実施に関する事項

1. 特定非営利活動に係る事業

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	実施 日時	実施 場所	従事者 の人数	受益対象者 の範囲及び 人数	事業費 の金額 (千円)
住民の地域社会に対する NPO活動の支援に関する 事業	釜石市における他セクター連携による社会課題解決と防災のための仕組み作り事業	令和5年4月～令和6年3月	釜石市内	2人	市内NPO団体等	3,370
住民の地域社会に対する NPO活動の支援に関する 事業	被災者支援コーディネーター事業	令和5年4月～令和6年3月	釜石市内	2人	市内NPO団体等	914
行政団体・市民団体等の 業務受託に関する事業	釜石市復興住宅等入居者訪問支援事業	令和5年4月～令和6年3月	釜石市内	9人	市内復興公営住宅の住民等	29,253
住民の地域社会に対する NPO活動の支援に関する 事業	NPO支援センター事業	令和5年4月～令和6年3月	釜石市内	2人	市内NPO団体等	—
住民の地域社会に対する NPO活動の支援に関する 事業	NPOのためのオンライン活用セミナー開催及び伴走支援	令和5年4月～令和6年3月	釜石市内	2人	市内NPO団体等	—
					事業費合計	33,537

2. その他の事業

実施しなかった。